

建設工事における墜落災害の原因詳細

§ 1 ま え が き

土木建築工事において墜落災害は目立つて多い。而も重傷以上の傷害事故となることが多い。墜落災害はどのようにして起るのであるか、又墜落というと作業者の作業行動が悪かつたためという、全く人的欠陥によるものと思われ勝であるが、設備の欠陥即ち物的欠陥によることもあるので、これらの点を調査し、併せて今後墜落災害予防の方向をはつきりさせるために、この災害を詳細に調べてみたのである。

資料として今手元にある昭和25年1ケ年間の東京都における建設事業の災害件数2,383件を分類した。墜落災害はこの中438件で18.4%を占めていることがわかつた

§ 2 墜落災害原因の詳細

墜落の場所	素 因	傷害件数	備 考
足 場 板 (154件 35%)	踏外す	63	人間だけでは断定できない 物的 物的
	滑る	27	
	折れる	12	
	板がずり落ちる	15	
	動作の反動	22	
	物が当つて来る	15	
足 場 丸 太 (81件 18.4%)	踏外す	26	物的 物的
	滑る	37	
	折れる	8	
	交叉部の緊縛が切断	10	
(3件 0.7%)	足場が崩壊	3	物的
梯 子 (3件 7.2%)	踏外す	6	物的 物的 物的
	滑る	4	
	折れる	2	
	梯子が滑る	16	
	梯子が傾く	4	
階 段 (3件 0.7%)	踏外す	2	
	滑る	1	
脚 立 (15件 3.5%)	踏外す	10	物的
	折れる, 倒れる	5	

棧 橋 (9件 2.1%)	踏外す	7	
	滑る	2	
梁, 母屋, 柱, 根太等 (62件 14.2%)	踏外す	25	物的
	滑る	20	
	折損, 仕口が外れる等	17	
屋 根 (26件 6%)	踏外す	9	人的と物的
	滑る	13	
	屋根材折損	4	
足 掛 り (53件 12.2%)	踏外す	37	
	崩れる	16	

註1. 踏外すと滑るとをわざわざ区別したがこれは災害の目撃者でないとはつきりしない。而し報告の記事によつて一応区別した。

2. 足場の崩壊は墜落場所としては足場である。素因がはつきりしないので崩壊を素因として欄を設けた。崩壊で考えられることは壁繫の不足建地の不同沈下等である。

3. 大体物的欠陥によると思われるものについて備考欄に註釈した。

§ 3 む す び

以上により純粹に物的欠陥によるものだけを拾つてみると92件であり全体よりみて21%もあることがわかり、仮設備の欠陥を是正しなければならないことが認められる。(足場の安全指針については安全資料第2号に発表した)

滑るということを出してみたのは以前より問題になつてゐるため、数字上438件中104件で23.7%もあり、尙これを上廻ることが想像される。これは純粹に人的欠陥とかがたづけてしまうことは割切れないものがある。滑ることは雨で濡れた足場や屋根等でよく起ることではあるが、そうでなくても起り、履物についても詳細な調査研究が必要ではないだろうか問題である。

(担当者 斎藤次郎)